

第116期

中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

昭和パックス株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年9月30日をもって当社第116期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、業績についてご報告申し上げます。
平成23年12月



代表取締役社長 河野弘征

事業の概況

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災による供給制約と需要の急激な落ち込みから4～6月期の実質国内総生産（GDP）は3四半期連続のマイナス成長となりました。しかし、供給制約解消に伴う国内生産の回復を背景に7～9月期の実質国内総生産は前期比プラス成長に転じました。

今後の国内景気は東日本大震災からの本格的な復興需要を支えに回復基調が続くものの、欧米経済の減速や円高の影響による輸出の伸び悩みから回復のペースは鈍化する見込みです。

産業用包装資材の製造・販売を主要事業とする当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、震災後の国内取引先の生産動向の影響を受けて、当社の重包装袋の売上数量が前年同期を下回りました。その一方でフィルム製品の売上数量が伸び、子会社各社は比較的順調に推移致しました。その結果、連結売上高は9,897百万円で前年同期に比して54百万円の減少となりました。損益につきましては、売上の減少のほか、原材料費比率の上昇等があり、営業利益478百万円（前年同期比50百万円の減益）、経常利益544百万円（同32百万円の減益）でしたが、前年同期より特別損失が減少したため四半期純利益は347百万円（同4百万円の増益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

○重包装袋

重包装袋セグメントの主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第2四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、一部需要家の被災の影響が大きく前年同期比△4.1%と減少しました。

特に被災の影響と輸出の減少で合成樹脂用途向けのクラフト紙袋需要の落ち込みが大きく、これが当社のシェアが高い分野であったことから、当社の売上数量は前年同期比△7.8%と業界全体よりも大きな減少幅となりました。

子会社の九州紙工(株)の売上数量はほぼ前年並み、タイ昭和ボックス(株)、山陰製袋工業(株)の当第2四半期連結累計期間（1～6月）の売上数量は前年同期比でそれぞれ+3.9%、+8.1%と順調でした。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は6,276百万円で、前年同期に対し365百万円の減収となりました。

なお、タイ昭和ボックス(株)の第1期増設工事が7月に完了し、クラフト紙袋の製造能力が月産3百万袋から4百万袋にアップしました。

○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第2四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期比で産業用は微増、農業用は減少で、合計では微減となりました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は当第2四半期連結累計期間中は上昇傾向でしたが、直近のナフサ価格の変動を受け軟化に転じつつあります。

当社の売上数量は、需要に機動的に対応した生産・出荷を行ったことで産業用、農業用いずれも伸び、合計で前年同期比+17.5%となりました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は2,074百万円で、前年同期に対し219百万円の増収となりました。

○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは復興需要もあり海外からの輸入量が前年同期より大幅に増加しま

した。

当社の自社製ワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は食品用途向けが伸びたものの樹脂・化学品用途向けが減少してほぼ前年同期並み、輸入販売品は樹脂・飼料・食品用途向けが大きく伸びて、全体では前年同期比+17.2%となりました。一方で、大型コンテナバッグ「バルコン」の売上数量は前年比△13.2%と減少しました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は875百万円で、前年同期に対し99百万円の増収となりました。

○不動産賃貸

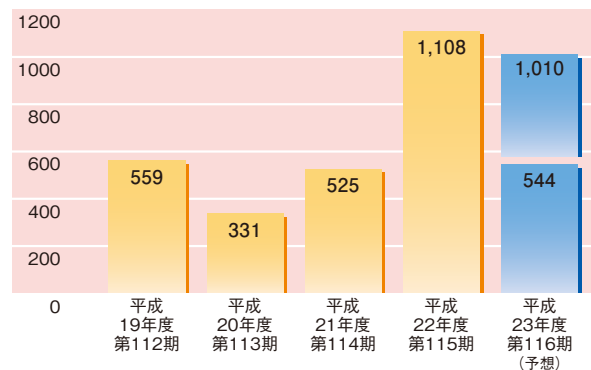
賃貸用不動産と賃貸契約の内容に大きな変動はありませんでした。前期中に本社ビルの賃貸料を改訂したため、当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は前年同期に対して7百万円減少し、124百万円となりました。

第3～4四半期については、国内の震災復興計画執行の遅れ、欧州債務リスクを起点とした海外景気減速の深刻化、タイ水害の影響によるアジアサプライチェーンの混乱など、外部環境に景気への懸念要因が多数存在します。景気動向は物流用包装材の需要を大きく左右し、当社グループの業績に影響を及ぼします。当社の主力製品であるクラフト紙袋は震災の影響を払拭しきれておらず売上数量の前年割れが続いているところに、原料である原紙価格の値上がりがあり、経営環境はより厳しさを増すことを覚悟しなければなりません。

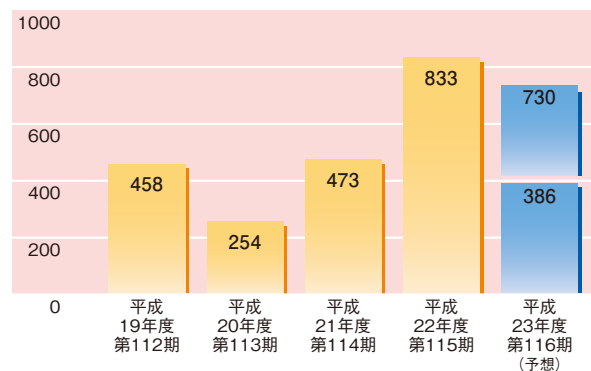
既存の商権の深耕、適正価格の維持とともに、当社独自技術STSや山陰製袋工業(株)との連携を活用した新たな商権の獲得、液体用コンテナ内袋など新しい商材の拡販にも注力し、困難な環境を打開して連結業績を向上すべく努力してまいります。

経常利益 (単位：百万円)

連結



単体



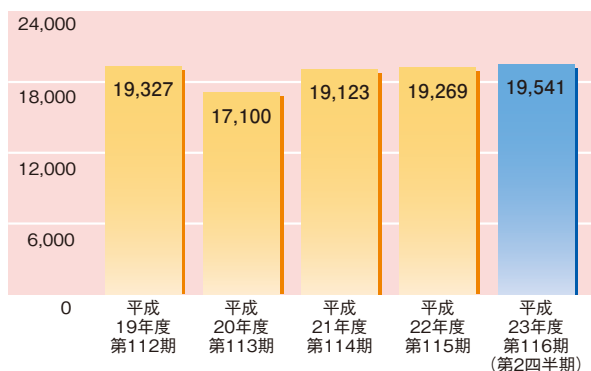
連結決算の概要

連結貸借対照表 (単位：千円)

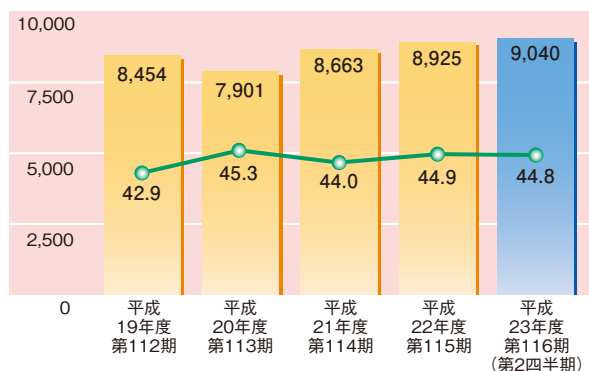
科 目	平成23年9月30日現在	平成22年9月30日現在
(資産の部)	(19,541,513)	(19,081,037)
流動資産	12,449,615	11,948,981
現金・預金	3,899,446	3,558,805
受取手形・売掛金	5,839,626	5,841,894
棚卸資産	2,253,096	2,157,304
その他	465,854	418,381
貸倒引当金	△ 8,407	△ 27,405
固定資産	7,091,897	7,132,055
有形固定資産	4,443,975	4,177,287
建物及び構築物	2,075,147	1,996,419
機械装置及び運搬具	1,126,512	1,195,627
その他	1,242,315	985,240
無形固定資産	52,530	56,281
投資等	2,595,391	2,898,486
投資有価証券	2,248,452	2,612,535
その他	413,390	355,313
貸倒引当金	△ 66,451	△ 69,361
合 計	19,541,513	19,081,037

科 目	平成23年9月30日現在	平成22年9月30日現在
(負債の部)	(10,500,720)	(10,320,297)
流動負債	8,691,635	8,396,086
支払手形・買掛金	4,178,768	4,087,081
短期借入金	2,983,360	2,995,160
その他	1,529,507	1,313,845
固定負債	1,809,084	1,924,210
長期借入金	778,000	797,000
その他	1,031,084	1,127,210
(純資産の部)	(9,040,792)	(8,760,739)
株主資本	8,617,902	8,099,113
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	7,694,337	7,174,429
自己株式	△ 6,782	△ 5,662
その他の包括利益累計額	136,118	386,101
評価差額金	224,754	444,235
為替換算調整勘定	△ 88,636	△ 58,133
少数株主持分	286,772	275,524
合 計	19,541,513	19,081,037

総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円) 自己資本比率 (単位：%)



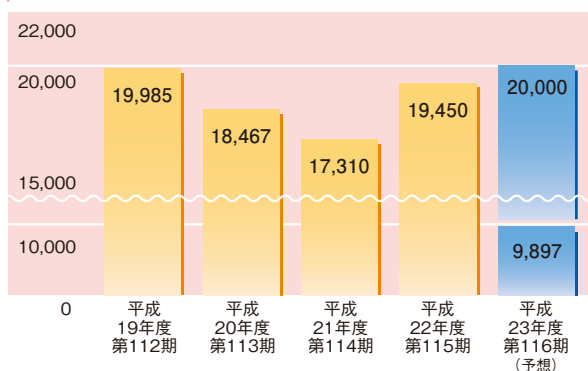
連結損益計算書 (単位：千円)

科 目	平成23年4月 1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月 1日から 平成22年9月30日まで
売 上 高	9,897,234	9,952,176
売 上 原 価	8,204,081	8,207,153
販売費・一般管理費	1,215,136	1,216,377
営 業 利 益	478,016	528,646
営 業 外 収 益	97,683	82,096
営 業 外 費 用	31,382	33,910
経 常 利 益	544,317	576,832
特 別 利 益	1,677	84
特 別 損 失	7,309	29,823
税金等調整前四半期純利益	538,684	547,093
法人税・住民税・事業税	181,804	192,055
法人税等調整額	△ 274	1,991
少数株主損益調整前 四 半 期 純 利 益	357,155	353,046
少 数 株 主 利 益	9,301	10,093
四 半 期 純 利 益	347,853	342,953

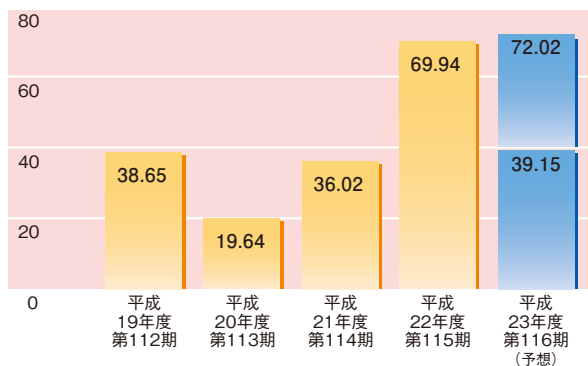
連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (単位：千円)

	平成23年4月 1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月 1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	510,787	723,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 381,155	△ 394,752
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,535	129,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9,350	△ 2,436
現金及び現金同等物の増減額	136,816	456,448
現金及び現金同等物の期首残高	3,279,207	2,608,547
現金及び現金同等物の期末残高	3,416,024	3,064,995

売上高 (単位：百万円)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



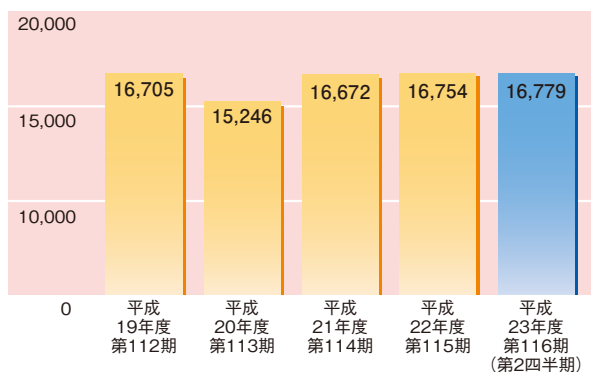
単独決算の概要

貸借対照表 (単位：千円)

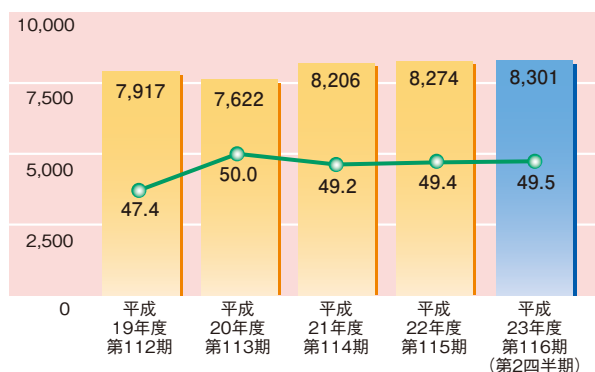
科 目	平成23年9月30日現在	平成22年9月30日現在
(資産の部)	(16,779,984)	(16,394,621)
流動資産	10,038,175	9,376,798
現金・預金	2,774,013	2,388,574
受取手形・売掛金	5,029,219	4,971,869
棚卸資産	1,792,517	1,617,388
その他	442,424	401,120
貸倒引当金	—	△ 2,154
固定資産	6,741,809	7,017,823
有形固定資産	3,115,650	3,082,473
建物	1,549,808	1,554,131
機械装置	871,757	879,713
その他	694,085	648,628
無形固定資産	34,489	40,799
投資等	3,591,668	3,894,550
投資有価証券	2,193,313	2,556,864
その他	1,415,303	1,354,685
貸倒引当金	△ 16,948	△ 17,000
合 計	16,779,984	16,394,621

科 目	平成23年9月30日現在	平成22年9月30日現在
(負債の部)	(8,478,661)	(8,204,617)
流動負債	7,134,780	6,794,732
支払手形・買掛金	3,761,194	3,559,014
短期借入金	2,085,000	2,085,000
その他	1,288,585	1,150,717
固定負債	1,343,880	1,409,885
長期借入金	600,000	600,000
退職給付引当金	81,445	29,680
役員退職慰労引当金	94,917	70,505
その他	567,517	709,699
(純資産の部)	(8,301,322)	(8,190,004)
株主資本	8,087,948	7,758,216
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
資本準備金	289,846	289,846
利益剰余金	7,164,384	6,833,531
利益準備金	160,125	160,125
任意積立金	6,587,734	6,349,856
[配当平均積立金]	[426,564]	[355,940]
繰越利益剰余金	416,524	323,550
[当期純利益]	[238,610]	[235,925]
自己株式	△ 6,782	△ 5,662
評価・換算差額等	213,374	431,787
合 計	16,779,984	16,394,621

総資産 (単位：百万円)



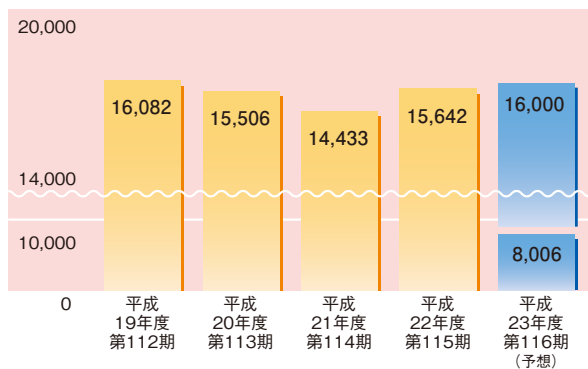
純資産 (単位：百万円) 自己資本比率 (単位：%)



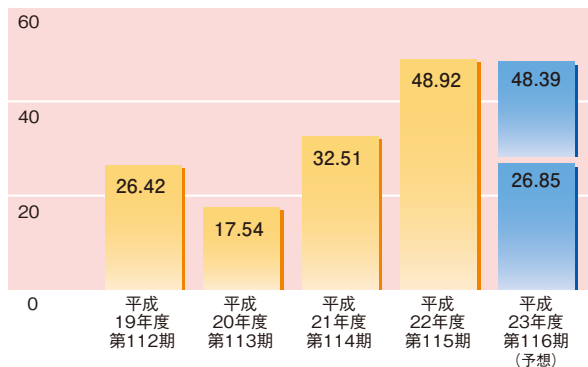
損益計算書 (単位：千円)

科 目	平成23年4月 1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月 1日から 平成22年9月30日まで
売 上 高	8,006,595	7,936,664
売 上 原 価	6,678,519	6,568,821
販売費・一般管理費	994,633	995,316
営業利益	333,441	372,526
営業外収益	69,370	63,546
営業外費用	16,604	15,759
経常利益	386,208	420,313
特別利益	—	—
特別損失	7,255	27,784
税引前四半期純利益	378,952	392,528
法人税・住民税・事業税	140,341	156,603
四半期純利益	238,610	235,925

売上高 (単位：百万円)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



トピックス

タイ昭和パックス設備増強

昭和パックスグループの連結子会社であるタイ昭和パックス(株)は、クラフト紙袋の製造販売を目的として、1997年にスタートしました。製造した紙袋はタイ国内に出荷するだけでなく、マレーシア・インド・ベトナム・中国などに輸出されています。

東南アジアに進出している日系化学メーカーが石油化学製品や肥料・薬品などを増産しており、クラフト紙袋需要は増加しているため、2010年4月に設備の増強を決定し、同年8月に着工しました。本年7月に第1期工事を終えました。これにより、クラフト紙袋の月産能力は300万袋から400万袋となりました。来年9月までには第2期工事を終えて、月産500万袋体制となる予定です。

今回の工事では、新工場と旧工場を一体化したものとし、工場内スペースを合理化、設備レイアウトを考慮し、生産性向上を可能としました。これにより、製造袋数は増加させつつ、人員の増加は最小限に抑えることができ、コストの削減も図ります。

500万袋体制が実現すれば、世界有数かつアジア最大のクラフト紙袋製造工場となります。

8月初めには、取引先を招待して工場の披露を行いました。

当社の製品は、お客様に届いてお客様の製品が包装された後はお客様の顔になる大切な包装資材であることを忘れることなく、今後も事業の拡大に努めます。



会社データ

■設立

昭和10年12月20日

■資本金

6億4,050万円

■主要な事業内容

クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売

■役員（取締役および監査役）（平成23年9月30日現在）

代表取締役社長	河野 弘 征	営業本部長
常務取締役	上野 安 志	生産本部長
取締役	花山 宜 久	営業本部副本部長
取締役	土田 隆 夫	管理本部長
取締役	白方 茂 樹	タイ昭和パックス(株) 代表取締役社長
取締役	大西 亮	(株)ネスコ 代表取締役社長
取締役	平野 正 春	山陰製袋工業(株)・山陰パックス 代表取締役社長
常勤監査役	佐藤 隆	
監査役	藤岡 貞 章	(株)サンエー化研 取締役
監査役	佐々木 英一	新生紙パルプ商事(株) 常勤監査役

※藤岡貞章氏および佐々木英一氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■事業所

●本 社 〒162-0845

東京都新宿区市谷本村町2番12号
電話 03 (3269) 5111

●支 店 大阪、西日本(山口)、中部(名古屋)、東北(仙台)

●工 場 東京(埼玉)、防府(山口)、富山、亀山(三重)、盛岡(岩手)、掛川(静岡)

●子会社 九州紙工(鹿児島)、ネスコ(東京)、山陰製袋工業(島根)、山陰パックス(島根)、昭友商事(東京)、タイ昭和パックス(タイ王国)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払 株主確定日	3月31日
中間配当金支払 株主確定日	9月30日
基準日	定時株主総会については、3月31日 その他定款に定めがある場合のほか、 必要があるときはあらかじめ公告する 一定の日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の 証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払(※)、 支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」の 郵便物送付先・電話 お問い合わせ先・お取扱 店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式 売買は出来ません。

※未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱い致します。

単元株式数	1,000株
公告掲載新聞	日本経済新聞